

# 国立大学法人 名古屋大学 東山キャンパス 国際開発校舎



所在地：愛知県名古屋市中千種区不老町  
 建築面積：931㎡  
 延床面積：6,150㎡  
 構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造  
 照明改修施工：矢野電機(株)  
 照明更新完成：平成23年3月

S89

1991(平成3)年に発足した名古屋大学国際開発研究科。2011(平成23)年に創立20周年を迎えた同科の建物が照明リニューアルされ、高効率・省エネな照明器具の採用により、CO<sub>2</sub>の削減を図っています。

## CO<sub>2</sub>排出量削減のために全学的な省エネ改修を実施

名古屋大学大学院の国際開発研究科は、国際開発協力・国際コミュニケーション分野で活躍する人材の育成を目的に、国内外での実地研修等による実践教育を重視。多くの授業は英語で行われ、学生の約半数は多彩な国からの留学生となっています。

名古屋大学では、低炭素エコキャンパスの実現に向けCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組み、2014年に2005年比20%以上の削減を目標として全学的な省エネ改修を進めており、その一環として創立20周年を迎えた国際開発校舎でも照明リニューアルが実施されました。

## LED照明と省エネ蛍光灯器具エネカット32+<プラス>で照明リニューアル

玄関・エレベーターホールの照明は、既存のFLR40W2灯用埋込器具とFDL18Wダウンライトを、初期照度補正タイプで24,000時間の長寿命の省エネ蛍光灯器具エネカット32+<プラス>と13.1WLEDダウンライト900シリーズなどに更新。ほぼ同等の明るさで先進的なイメージを創出しながら約48%の消費電力を削減しています。

講義室や研究室などは、FLR40W2灯用埋込器具が設置されていましたが、省電力・長寿命の55WLEDベースライトストレートタイプ調光形に更新し、約35%の省エネを図っています。また、あかりセンサーと組み合わせることで、昼光利用など、さらなる省エネを可能としています。

パソコンが多用されているコンピューター室(サテライトラボ)や情報処理室は、FLR40W3灯用埋込器具とIL100WダウンライトをFHF32W3灯用下面ルーバー付エネカット32+<プラス>と13.9WLEDダウンライト900シリーズ調光形として、コントロールで講義に応じた調光を可能にしながら省エネしています。

プレゼンテーションルームは、既存のベース用FLR40W3灯用調光形と演出用85W/ハロゲンランプスポットライトを、ベースにFHF32W2灯用デジタルクス乳白カバー付と8.7W LEDスポットライトに更新。大幅な省エネを図りながら、プレゼンの作品を際立たせた効果的な光環境を形成しています。



大学院研究室の照明 55WLEDベースライトストレートタイプ調光形を採用し、大幅な消費電力の削減を図るとともに、あかりセンサーとの組み合わせによる昼光利用制御でさらなる省エネを実現



エネカット32+<プラス>とLEDダウンライトに更新した玄関・エレベーターホール



FHF32W2灯用埋込器具プリズムカバー付器具調光形採用の演習室



LEDベースライトストレートタイプ調光形を均等に配置した図書室の照明



エネカット32+<プラス>3灯用ルーバー付と調光可能形LEDダウンライトによるコンピューター室の照明



プレゼンテーションルームの照明 デジタル制御照明デジタルクス2灯用乳白カバー付とLEDスポットライトを採用

### 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
室内	エネカット32+<プラス>埋込形	FHR-42540D-PRJ	76	32WHf蛍光ランプ×2
	エネカット32+<プラス>埋込形ルーバー付	FHR-43574K-PRJ(改)	18	32WHf蛍光ランプ×3
	デジタルクス埋込形プリズムカバー付	FHR-42576K-DBM	30	32WHf蛍光ランプ×2
	デジタルクス埋込形乳白カバー付	FHR-42577K-DBM	18	
	LEDベースライトストレートタイプ埋込形	LEDR-48003W-LD9(改)	476	LED 消費電力:55W
	LEDベースライトストレートタイプ埋込形(高演色タイプ)	LEDR-48003W-LD9(改)	8	LED 消費電力:55W
	LEDダウンライト	LEDD-70001FW-LS9	207	LED 消費電力:13.1W
	LEDダウンライト	LEDD-70007FL-LD9	32	LED 消費電力:13.9W
	LEDスポットライト	LEDS88008R	24	LED 消費電力:8.7W